

性能評価事前研修会が開催された

6月14日(金)午後、令和6年度前期の鉄骨製作工場性能評価に申請した1社に対する事前研修会が組合事務所で行われた。講師は、小原教育技術委員長、目黒事務局長。なお、6年度後期に申請を予定している1社も参加した。

①コロナ禍において、審査時間短縮のため、審査員に事前に目を通していただけるよう、審査資料を審査日の2週間前までに当組合を通じて審査員に事前提出することは、2024年後期申請までは継続する、②経営理念、工場配置図、グレード取得歴などが記載された会社案内などの用意があると審査員に喜ばれるなどの説明があった。

小原委員長からは、全構協のHPからダウンロードした「鉄骨製作工場の基準マニュアル集(2022年2月改訂)」を液晶画面に映しながら、工作基準や検査基準などについて詳細な解説があった。

受審の様子を記録した写真、経営理念を掲示した写真、手作りの会社案内などを回覧したり、小原委員長の受審時の質疑応答や事務局長の随行時のプチ情報などが披露され、多くの情報や知見を共有できた有意義な研修会であった。



Mグレード部会総会開催

6月7日(金)17時から、しり鳥商店横浜駅前店において、第18回通常総会が開催された。

青柳副会長の開会の辞、「会員22社のうち、20社が出席(本人出席14社、委任状出席6社)で定数を満たしており、総会は成立している」との報告に続き、小原会長から「総会に引き続き情報交換をし、親睦を深めたい」との挨拶があった。



会則により小原会長が議長に指名され、議案を審議した結果、第1号議案(令和5年度事業報告・収支決算報告・監査報告)、第2号議案(令和6年度事業計画・収支予算案)は原案どおり承認された。

総会の議案審議終了後は、会長挨拶のとおり、飲食をしながら情報交換をし、大いに親睦を深めた。



鉄骨加工概論・工場見学の実施

6月4日(火)午後、今年で15回目となる日本溶接構造専門学校鉄骨加工概論の一環である工場見学が、平塚市の岸本建設工業で実施された。参加者は生徒5名、引率の先生1名、全構協から瓜生主任と尾下担当が参加した。講師は岸部講師と岸本建設工業の方々。

工場概要の説明、模擬原寸・製品検査の講義を受けた後、空調服・ヘルメットを着用して工場内で、入熱パス間温度管理、ペンキ膜厚検査、開先検査、サムスチールチェッカーを使用した材質検査、ショット面の粗さ測定などの各種測定検査に加えて、ハイドロカットの切断実演等を見学した。

毎年のことながら、岸本建設工業の方々の受入準備や実演も万全で、有意義な授業となった。岸本建設工業の皆さま、お忙しいところ、ありがとうございました。



青年部会総会開催

6月22日(土)16時から、神奈川中小企業センターにおいて、第34回定時総会が開催された。

田中全国・関プロ担当の開会の辞、岸部幹事の「会員29名のうち、28名が出席(本人出席17名、委任状出席11名)で定数を満たしており、総会は成立している」との報告に続き、Zoom出席の鈴木会長から「令和5年度は皆様のご協力により、多くの事業を実施することができた。今後とも、横のつながりを大切に活動していきたい」との挨拶があった。

部会規約により、鈴木会長が議長に指名され、議事進行の結果、第1号議案(令和5年度事業報告・収支決算報告・監査報告)は原案どおり承認され、第2号議案(令和6年度事業計画・収支予算案)は収支予算案の補助金額とそれに伴う関係個所を修正して承認された。第3号議案(任期満了にともなう役員改選)は下表のとおり決定した。

会長	鈴木 昭典	佐原工業(株)
全国・関プロ担当	村岡 正樹	城南メタル(株)
副会長	内藤 恵一	(有)内藤鉄工所
副会長	北條 功	北條鉄工(株)
会計	小川 貴嗣	(有)小川工業所
会計監査幹事	岸部 洋平	(株)岸本建設工業
会計監査幹事	田中 聡	(有)田中工業所
幹事	小原 宏太	(株)小原鉄工所
幹事	澤田 一和	岩原工業(株)
相談役	小泉 学	(株)コイズミ

総会后、石井理事長から「先ほど予算案で親会からの補助金を0円に修正していただいたが、今年度は50周年記念事業を控え、親会の会計も苦しい。今年度限りと考えているので、ご辛抱いただきたい。

全国の令和5年暦年の推計鉄骨需要量は、久しぶりに400万トンを割り、今年度も横ばいと推定されている。物価上昇もあり、仕事が平準化しないという業界特有の問題もある。青年部会の皆さんは、悩みを打ち明け相談する場として、部会を活用していただければと思う」との奨励の言葉があった。

また、澤田一和氏に出産祝金、渡辺健太氏に結婚祝金が贈られた。(↓スクリーンに鈴木会長、内藤副会長は欠席)



RJNグレード部会総会開催

6月8日(土)16時から、組合事務所において、第10回定時総会が開催された。

小川副会長の開会の辞、「会員21社のうち、19社が出席(本人出席9社、委任状出席10社)で定数を満たしており、総会は成立している」との報告に続き、柳川会長から「材料費・人件費が高騰するとともに、働き方改革問題が深刻化しており、リーマンショック以来の不況という感じがしている。全国会議でも『仕事がなく、遊んでいた』という話が出ていた。今が底辺で、これから明るくなると思い、頑張っていきましょう」との挨拶があった。

会則により議長に指名された柳川会長の議事進行により、第1号議案(令和5年度事業報告・収支決算報告・監査報告)、第2号議案(令和6年度事業計画・収支予算案)は原案どおり承認された。第3号議案(任期満了にともなう役員改選)は下表のとおり決定した。(全員留任)

会長	柳川 宜満	(有)柳川鉄工所
副会長	小川 雅実	(有)小川工業所
会計	金谷 浩俊	(株)カナヤ
幹事	摩庭 一修	(株)SK-PERFORMANCE
監事	内藤 恵一	(有)内藤鉄工所



総会后、石井理事長から「50周年記念事業への支出予定や性能評価の件数減に伴う収入減などにより、今年度は親会からの補助金がなく、申し訳ない。親会としても工夫して運営費を安定させたいと考えている。厳しい年になりそうだが協力して次のステップに向けて力をつけてほしい」との激励の言葉があった。

その後、各社の現況などについて、情報意見交換を行った。

役員会だより (6月20日、ハイブリッド形式で開催)

- ・岸部直喜前理事長と加藤卓郎元理事長のお二人に、引き続き相談役を委嘱することが決定した。(委嘱状を交付させていただいた。)
- ・理事の所属委員会が決定した。(近々組合員名簿を発送予定)
- ・組合設立50周年事業において、組合員紹介コーナーの執筆依頼や協力会社への協賛広告掲載依頼の方法について決定した。



加藤卓郎さんのご子息の敦史理事へ交付